

日 時：平成 28 年 12 月 1 日（木）18 時 30 分 ～20 時 05 分

場 所：岩館地区構造改善センター

対象地区：岩館

参加人数：16 名

■意見交換

内 容
<p>○選挙の投票所について (市民からの要望、質問)</p> <p>今年、参議院選挙があり、18 歳以上に選挙権が与えられた。投票率改善のために移動投票を行っているようで、岩館も対象地区に入っていた。岩館では 53 人が投票したと聞いているが、この際、大坊まで行かなくても岩館で投票できるようにしてほしい。可能かどうか伺いたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の参議院選挙から投票区の見直しを行い、尾上地域では今までよりかなり少なくなった。一つの投票所当たりの有権者の人数を人口や地域性をみて選挙管理委員会が設定したもので、選挙区の見直しにより平準化されたものであるため難しい。そういう中でも不便をなくすため、出前の期日前投票所、いわゆる移動投票所として開設した。しかし、衆議院選挙や市の選挙は準備期間が短く、参議院選挙と同様にできるかどうかは検討課題になろうかと思う。・今回の参議院選挙からはイオンタウン平賀にも投票所を設け、当日は共通投票所を開設した。買い物ついでに投票できるとのことで好評をいただいた。全国で 4 か所しかなかったが、最もスムーズだったのが平川市とニュースでも取り上げられた。次回も続けたいと思っているが、周辺自治体でも始めたり、衆議院選挙などは投票までの時間がない場合は、選挙事務のパソコンのリースが難しくなってくる。・投票率は向上したといってもまだまだであるため、更なる向上に努めたい。・各町会にあったほうが良いが、それぞれの投票所に経費がかかってしまう。人員配置などの関係で投票所の見直しを行った。
<p>○除雪について (市民からの要望、質問)</p> <p>リサイクルごみ置き場の雪について、去年の雪がすごく、リサイクルの係の人が大変な思いをした。除雪を市で行ってほしい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・除雪は基本的に行っていないため難しいと思うが、他の状況を調べて協議してみたいと思う。

(市民からの要望、質問)

除雪業者がやってくれず大変であったので、市役所と業者に話してやってもらうようにした。去年からは除雪している。

○大坊小学校の今後について

(市民からの要望、質問)

周囲から、自分の子供を大坊小学校に入れたいが何年か後に閉校するのではという噂が聞こえてきている。どのような見通しになっているのか聞きたい。

(市の回答)

- ・市の中で閉校について協議していない。しかし、だんだんと子どもが減っていく中で、今後地域で考えていく必要があると思う。広船小学校の場合、複式学級や統合に対して、地域から反対があった。しかし、複式学級では高学年で特に勉強が遅れていくことから、地域の了解を得て最終的に閉校となった。大坊小学校も複式学級になる可能性の話はあるものの、閉校という話が出ていない。
- ・どの学校も児童数は減少してきている。少ない子供たちにどんな教育の仕方が良いか検討していく。
- ・大坊小学校は平成 30 年度に 1 クラスは複式学級になる見通しである。複式学級になったとしても指導課ではその中で単式学級と同様の指導をどのようにしていくかを考えており、大坊小学校の先生も勉強をしている。将来的なことについては地域と相談しながら進めていく。

(市民からの要望、質問)

複式学級で学力が低下するとのことであるが、以前僻地で指導していた時にそんなことはないと感じていた。

(市の回答)

- ・複式学級でも少人数であれば目が行き届き、プラスになることも聞いている。市としても学習指導員を 17 人から 19 人に増員している。しかし、今は子どもが年に 300 人ほど入学しているが、小学校が 9 校あることをみると多くない。
- ・子どもを増やすため第 2 子以降保育料無料化などを行っている。年間 8,000 万円ほどかかるが、平川市が子育てしやすいという話が広まると外から来る人が増えたり、経済的に 2 人目が難しいということが無くなることを期待して行っている。また、子育て住宅への支援も行っており、市外から 25 件の申し込みがあった。今年も申し込みがあり、市外から 20 件ほどの申し込みがある。家を建てるだけでなくリフォームも該当する。

○高齢者施策について

(市民からの要望、質問)

高齢者の生きがいのために老人クラブがあるが人が集まらなくなってきた。そんな中、テレビで茨城県で行われている、出かけるとシールがもらえるシステムが紹介されていた。

そのような喜びを与えて生きがいを感じられることがあれば取り入れてほしい。

(市の回答)

- ・超高齢社会の中で、高齢者が生きがいを持って暮らしていく地域づくりは行政の中で考えていかななくてはならない。しかし並行して社会保障の問題もある。消費税増税しない影響が医療費など様々な面が出てきている。
- ・去年健康づくり宣言を行い、今年度からは元気に暮らしていくためのポイント事業などを行っている。食育など、一人でも多くの皆さんに参加してもらい、健康に気を付けてほしい。今後も高齢者が生きがいを持っていけるようにしていきたいと考えている。

○木工クラブの活動について

(市民からの要望、質問)

木工クラブに行っているのだが、活動場所を取り壊すという噂があり、いつ取り壊すのか気になり落ち着かない。旧老人福祉センターも取り壊す話があるが、取り壊すのにお金がかかるとのことである。木工クラブを解散しなければならないのかという話も出ているのだが、どのようになっているのか。

(市の回答)

- ・木工クラブと陶芸クラブの建物についてだが、旧老人福祉センターは取り壊す予定となっており、周辺の利活用の方法が決まれば木工クラブの建物は考えなくてはならないと思う。シルバー人材センターが移動した時に旧老人福祉センターを使わなくなったため、トイレを使っていたが、新たに木工クラブの方に作った。一体として活用するという話が出たらそこだけ残すのはどうかという話になると思うが、できるだけ残したいと思う。
- ・以前に尾上庁舎へ行ってはどうかという話があったが、陶芸の窯や木工の機械を持っていくのは大変だということになった。
- ・市の行財政改革で古いものを変えていくという計画を組んでいるので、その中でどのようになっているかによると思う。

○郷土資料館の活用について

(市民からの要望、質問)

資料館を見学させてもらったのだが、子どもたちに伝えるべき昔のものがたくさんある。活用する方法を考えてほしい。

(市の回答)

- ・郷土資料館に展示したいものはあるが狭い。現在庁舎の建て替えの話が出ており、市の方針としては旧平賀病院の跡地に建設し、健康センターを活用する話になっている。その場合の尾上庁舎の活用方法であるが、郷土資料館的な文化財の展示の場所などが考えられると思う。そうでなければ新しいものを建てなければならなくなる。
- ・限られたスペースの中でしか展示することができない。多くのものを見てもらいたいという思いもあるが、本庁舎建設との絡みで様々な展示が模索できると思う。

○側溝整備について

(市民からの要望、質問)

苗生松、三町会、大坊と道路に側溝があるが、県でやっているのか、市でやっているのか。

(市の回答)

- ・話している場所は県道かと思う。融雪溝については県も市も進めているが、融雪ならよいが、流雪であれば水を取るところがあるのか、流末が確保できるか、地域の皆さんに協力してもらえるかという3つも要件がある。また、水のポンプアップが必要であれば受益者負担も出てくる。それがクリアできれば要望に入る。

○歩道整備について

(市民からの要望、質問)

大坊小学校から村に来るのに、だいぶ前に子どもたちのための歩道が設置されたが、途中でストップしている。ここは車が何台も落ちる場所である。町会長が交渉していたが、進捗もなく10年以上になる。町会の要望に対し、どこまで声が届いているのか、わかっているのかを聞きたい。

(市の回答)

- ・来年度も要望をもらっており、県に要望しているが、このような状況である。町会要望に関して、平成29年度は49町会から97件の要望が来ているが、土木関係で76件ある。市でできるものは優先度の高い順番に行っているが、県の方に関しては判断を県でしている。県には平川市から22、3件の要望をしているが、今後も引き続き要望していく。

○職員の対応について

(市民からの要望、質問)

春に交通安全で出たら、ここから道路だということを示すポールが壊れていた。子どもたちが通ると危険だと思い役所に電話したところ、すぐに片付けてもらった。感謝している。また、職員の雰囲気良くなってきた。以前は不満があったが最近は明るくなってきたと思うので、もっと明るくして欲しい。教育委員会も、笑顔だけでなく挨拶にも重点を置いてほしい。

(市の回答)

- ・職員も努力し、笑顔で対応するようにしている。職員が意識的にそうしているため、そういう声を聞くとうれしく思う。職員と市民が近くなるような雰囲気を作ることができるようにしていきたい。
- ・教育委員会に関しては挨拶を各学校で行っていると思う。
- ・今度行われる校長会で伝えたいと思う。

○複式学級について

(市民からの要望、質問)

複式学級の人数など具体的な基準というのはどうなっているか。

(市の回答)

- ・ 小学校の場合、1年生は対象とならないが、2学年以上で対象となる。例えば2年と3年で16人以下になると複式学級になる。平成30年のあたりで2、3年生合わせて16人以下になるという予想がされている。

(市民からの要望、質問)

例えば、孫の場合だと学年で5人である。1学年の時は複式学級にならないとしても、来年11人入学しなければ複式学級になるのか。

(市の回答)

- ・ 来年の3年生が12人であれば合わせて17人になるので複式学級にならないが、今度入学する児童が10数人にならないと思われるので、お孫さんが3年生になった時に複式学級になる可能性がある。

○文化の振興について

(市民からの要望、質問)

ポイント制導入の話があったが、市民文化祭の人集めが大変であった。昔の社会教育ではそのような制度はなかったが、県でも文化とポイントのものがあつたと思う。そのようなポイント制のいいアイデアがあれば聞かせてほしい。

(市の回答)

- ・ 文化協会に委託して3年目だが、人集めが大変であつたと思う。子どもたちがいれば保護者などが来るが、一般客があまり来ない状況で、人集めは大変である。
- ・ オープニングイベントに学校の生徒を連れてくることを考えたが、問題があるとのことであつた。しかし、同年代の人が演奏したりしている様子を聞くのは必要と思う。
- ・ 文化的なものに関するポイント制は検討してみるが確約できない。

(市民からの要望、質問)

ポイント制は様々行われているようで、温泉券やコーヒー券など、街に潤いを持たせるようなものがあつた。また、免許返納についても10%引きになるようなサービスがあつた。

(市の回答)

- ・ 免許返納に関しては県と協議してみたいと思う。
- ・ 文化的なものについても、考えてみたい。

(市民からの要望、質問)

ポイント制などの何か客寄せの投資をした方が良いのかと考えている。人が来ないうち

は文化で何か生まれることはないと思う。

(市の回答)

- ・実施する内容や人によっても人の入りは異なってくる。
- ・家から出てきてもらうためにポイント制度を導入して、果たして来てきてくれるかは考える必要がある。

(市民からの要望、質問)

今回の文化祭であるが、1か月間と期間が長かったため来ないことがあったように思う。ダンスパーティには人が集まっていた。

○除雪について

(市民からの要望、質問)

毎年来てくれるのはありがたいが、一晩に一気に降った時には山盛りになってしまい、大きなブルドーザーでないとできないといわれた。また、除雪業者に運んでもらうよう頼んだら、運ぶために役所の許可が必要と言われた。どのようになっているのかを聞きたい。

(市の回答)

- ・除雪区間 363.5km を 50 工区に分けて除雪している。平川市は他自治体とは違い、時間でお金を払っているので丁寧であると評価をいただいている。
- ・基本的に排雪は大雪や通学路などでない限り行っていない。除雪業者も分かっていると思うのだと思う。

(市民からの要望、質問)

雪がひどいので毎年市役所に電話する。市役所に電話すると、どのくらい降ったかと言われる。電話すれば除雪してくれるが、年一回は市役所に電話しなければならないのかと思う。

(市の回答)

- ・市役所は電話があれば現場を確認する。現場を見て市民の安全に関わることであれば排雪を行う。
- ・除雪費は毎年当初予算で 1 億 6,000 万円かかっており、去年は除雪に 3 億円かかっている。非常に難しい所ではあるが、通学路は除雪している。

(市民からの要望、質問)

大坊小学校の通学路は除雪していない。原田の方はやっているようだが、岩館から大坊小学校に向かう方はやってもらっていない。

(市民からの要望、質問)

通学路が途中で約 80m 切れているためと思う。冬の危険度は高い。

○循環バスの運行について

(市民からの要望、質問)

日曜日は岩館のバス運行はないのか。冬にバスで平川中心部に行く時に手段がない。運行にお金がかかるということは聞いているが、日曜日走らせることはできないか。

(市の回答)

- ・バスは岩館も入っている路線を含め、市内に4路線ある。4路線でかかる経費と運賃収入の差額を市で2,000万円以上負担しているが、5日間で7日間になるとその分だけ経費がかかる。
- ・利用者が少ないときは減らすということで、このような運行となっているが、もしルート上で日曜日走らせて平日の何曜日は休むというような話し合いが付けば可能性としてはあり得る。バスだけにお金をかけるわけにはいかないのに、折り合いをつけるために減らしているが、地域住民の最低限の足は守るためにこのような運行形態になっている。
- ・平成26年の実績では、大坊・岩館線は1日に11.6人であった。今、碓ヶ関地域で3か月間のバスの実証実験を行ったが、1日当たり平均8人の利用であった。山手であればもっと利用があるが、杉館・松崎線は1日平均7.3人と、弘前に近いと車を使うようである。
- ・これから高齢者が増え、免許の返納などで買い物に困るようになってくれば市として考えていかなければならないと思うが、現状として市が何千万円もかけてやる必要があるのかということにもなり、なかなかそこまではいかない。バス会社との協議もある。

○小学校の校庭での遊びについて

(市民からの要望、質問)

昔は小学校の校庭でよく遊んだものだが、今は遊んでいる姿を見なくなった。遊ばないのは何か理由があるのか。

(市の回答)

- ・校庭で子どもたちが遊ばなくなったのはゲームなどの影響があると思われる。遊んではいけないと学校で指導することはないと思う。